

*全国学力・学習状況調査(国語・数学・生徒質問)は中学3年生対象

【国語科】

今年度の全国学力・学習状況調査では、大阪府の平均正答率を4ポイント、全国を5.1ポイント下回った。【図1】

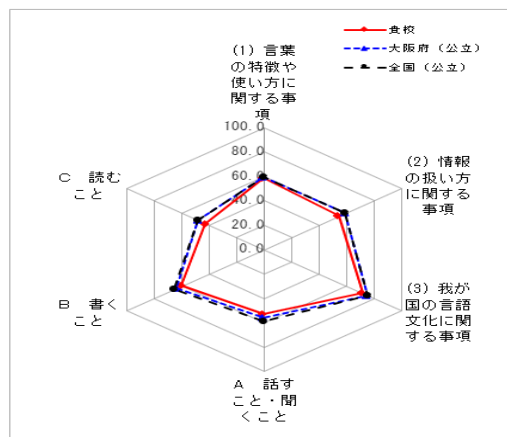
分野では知識技能よりも思考・判断・表現の分野で全国と差が出ていることがわかる。【図2】

集計結果からは、問題形式が選択式であること、知識を問う問題内容である場合、全国の正答率よりも高い結果であることがわかる。【図4】また、話の展開を捉えたり、他者の発言と結び付けたりしながら自分の考えを分かりやすくまとめることに課題があることがわかる。記述式の問題に関して、無回答率も高いことから、学んだことを自分の言葉でまとめる振り返り活動の徹底を今後も継続するとともに、授業内容においても思考を促す問いの設定など工夫していきたい。【図5】

【図1】全国学力・学習状況調査(国語)

国語	平均正答数	平均正答率(%)
誠風中学校	8.0/15	53
大阪府(公立)	8.6/15	57
全国(公立)	8.7/15	58.1

【図3】全国学力・学習状況調査(国語)



【図2】全国学力・学習状況調査(国語)

国語	誠風中	大阪府	全校
知識技能	59.3	62	62
思考判断表現	49.6	53.8	55.4

【図4】問題集計結果 *数値は正答率

問題番号	問題の概要	誠風中	大阪府	全国
2一	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	37.6	36	36.3
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	54.1	53.4	53.8
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	60.5	55.7	54.9

【図5】問題集計結果 *数値は正答率及び無回答率

問題番号	問題の概要	誠風中	大阪府	全国	本校無回答率
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	37.6	39.6	44.7	20
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	26.8	40.3	42.6	15.1
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	41	46.7	49.3	23.4

【数学科】

今年度の全国学力・学習状況調査では、大阪府の平均正答率を6ポイント、全国を7.5ポイント下回った。【図1】

知識技能・思考判断表現のともに全国と差が出ていることがわかる。【図2】

集計結果からは、問題形式が選択式であること、知識を問う問題内容である場合、全国の正答率よりも高い結果であることがわかる。【図4】数と式の記述問題やデータ活用に関する問題について比較して説明したり、データを読み取り判断理由を数学的な表現を用いて説明したりすることに課題が見られる。記述式の問題に対しての無回答率も高いという課題があることから、今後も授業内での記述を必要とする問いの設定や、理解した数式や法則などを活用して自らの考えを問う課題の設定を意識して行っていきたい。【図5】

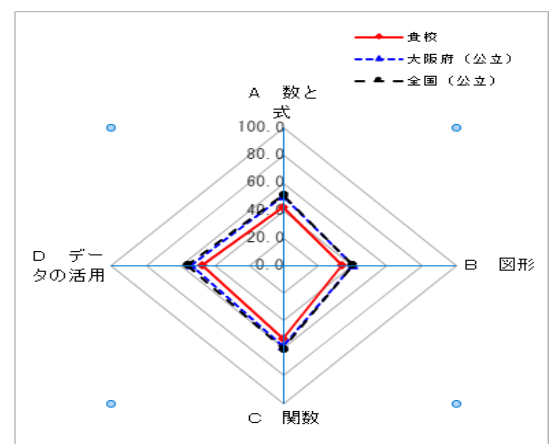
【図1】全国学力・学習状況調査(数学)

数学	平均正答数	平均正答率(%)
誠風中学校	7.2/16	45
大阪府(公立)	8.2/16	51
全国(公立)	8.4/16	52.5

【図2】全国学力・学習状況調査(数学)

数学	誠風中	大阪府	全校
知識技能	56.3	61.9	63.1
思考判断表現	20.1	28.2	29.3

【図3】全国学力・学習状況調査(国語)



【図4】問題集計結果 *数値は正答率

問題番号	問題の趣旨	誠風中	大阪府	全国
1	nを整数とするとき、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	35.7	34.7	34.8

【図5】問題集計結果 *数値は正答率及び無回答率

問題番号	問題の趣旨	誠風中	大阪府	全国	本校無回答率
6(3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	28	38.2	40.2	45.9
7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	15.9	22.3	25.9	42
7(3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	37.7	45	48.5	1.9

【生徒質問】

【図1～4】について、強い肯定的な回答が府、全国の平均より少ない点から理想高く現状をより良いものにしていきたいという本校生徒の姿がうかがえる。その中でも【図4】について府や全国の平均を下回るものの前年度よりも数値は大幅な改善傾向がみられる。対象生徒の1年時から本校の授業研究として「問い、対話、振り返り」をテーマに設定し、継続をしてきた。今後も思考を促す問いの設定や、生徒の気持ちや考えを大切にしながら自信をもって前に進んでいけるよう教育活動を進めていく。

【図1】問題集計結果

質問番号	質問内容	学校	思う	どちらかといえば思う	あまり思わない	全く思わない
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	誠風	34.6	45.2	15.9	4.3
		大阪府	43	39.5	11.2	5.7
		全国	43.5	40.3	10.8	4.7
18	友達関係に満足していますか	誠風	52.9	30.3	13	3.4
		大阪府	54.4	34.8	7.4	2.6
		全国	55	35.1	7.2	2.1

【図2】問題集計結果

質問番号	質問項目	学校	3時間以上	2時間以上 3時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	30分以上 1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
21	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	誠風	11.5	19.2	28.8	15.4	10.1	14.4
		大阪府	12.5	23.4	27.3	14.3	11.4	10.6
		全国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6

【図3】問題集計結果

質問番号	質問内容	学校	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	できていない
28-(2)	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2)分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	誠風	63	32.7	2.9	1
		大阪府	57.5	34	5.5	2.1
		全国	62.8	31.1	4	1.2
28-(5)	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	誠風	26.9	49	15.4	7.2
		大阪府	30.6	46.1	17.5	4.8
		全国	30.1	47.6	17.6	3.7

【図4】問題集計結果

質問番号	質問内容	学校	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	
31	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか 肯定回答前年比+6.9	誠風	24	49	23.6	2.9	
		大阪府	27.2	49.4	18.5	4.2	
		全国	24.7	50.7	20.3	3.7	
33	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか 肯定回答前年比+6.4	学校	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない
		誠風	28.4	47.1	16.3	4.3	3.8
		大阪府	34.1	49.5	11.1	3	1.6
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか 肯定回答前年比+10.8	学校	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	
		誠風	20.7	51	21.2	5.8	
		大阪府	29.3	50.2	15.2	4	
		全国	27.5	51.5	16.5	3.4	